



10月30日(金)

伯耆町産和牛が県内トップ評価獲得 改良技術を競う県共で全区制覇

鳥

取県中央畜産市場(琴浦町)で10月30日(金)、県内生産者が和牛改良技術を競う2020年度鳥取県畜産共進会(通称:県共)・和種・種牛の部が開催され、伯耆町生産者が出品した和牛が全5区で優等賞首席を獲得するとともに、第5区(繁殖雌牛群の部)優等賞首席・田中裕之さん所有の「なほ」、木嶋泰洋さん所有の「はくかね」、「りんかゆり23」の3頭セットがグランドチャンピオンに輝きました。全区で首席を獲得するのは、本町初の快挙ということでした。

令和4年には鹿児島県で第12回全国和牛能力共進会(通称:全共)が開催されます。全国から選ばれた優秀な和牛約500頭が一堂に会して、改良成果を競う「種牛の部」、肉質を競う「肉牛の部」で頂点を争う5年に1度の大会で、「和牛のオリンピック」とも言われています。この全共に向け、大きな手応えを感じる大会結果となりました。



▲2度目のグランドチャンピオン、3~5区の優等賞首席を獲得した木嶋泰洋さんと第3区優等賞首席の「あやひめりい2」



11月15日(日) 岸中2年生3人が短歌で入賞 第49回県民短歌大会

短

歌の普及と歌友の交流を図るため、鳥取県歌人会主催の第49回県民短歌大会が11月15日(日)に倉吉交流プラザ(倉吉市駄経寺町)で行われ、応募総数826首の中から、小中高校生の部に岸中中学校2年生の生駒 七星さん、長谷川 虹実さん、勝中 菜花さんの3人の作品が入賞しました。

県知事賞に選ばれた生駒七星さんは、「新聞に自分の名前が載っていて、まさか自分が受賞するとは思っていませんでしたので、びっくりしました」と話しました。

同校2年生は、授業で短歌の歴史や鑑賞方法を学んだ後、生徒たちが1首ずつ創作しました。その作品を本大会に応募し、3人の作品(以下)が入賞したということです。

静寂の フリースローは跳ね上がり

まっすぐ落ちて 沸き立つ歓声

(県知事賞・生駒 七星さん)

大山の天空リフト 目の前に

光りかがやく 海が広がる

(教育長賞・長谷川 虹実さん)

リバウンドのパスをもらおう 「どこにパス？」

コーチが言った 「お前が行け」と

(入選・勝中 菜花さん)

12月15日(火)

地域の栄養改善活動に長年貢献 中田瑞穂さんが 栄養関係功労者厚生労働大臣表彰受彰

地域の栄養改善事業の普及向上に関する長年の功績が認められた方に贈られる「栄養関係功労者厚生労働大臣表彰」の表彰式が12月15日(火)、米子保健所で行われ、伯耆町食生活改善推進協議会長・中田瑞穂さんが表彰されました。

地

地域の栄養改善事業の普及向上に関する長年の功績が認められた方に贈られる「栄養関係功労者厚生労働大臣表彰」の表彰式が12月15日(火)、米子保健所で行われ、伯耆町食生活改善推進協議会長・中田瑞穂さんが表彰されました。



▲伯耆町の食育に長年貢献されている中田瑞穂会長

伯耆町食生活改善推進員は、食を通じた地域の健康づくり活動を行うボランティアで、現在115名が活動しています。「食改さん」の愛称で、だしを使った減塩レシピの調理実習や講話などの普及啓発活動に加え、研修会に参加して知識・技術の向上に努めています。

中田さんは1982年からこの活動に携わり、2004年から現在まで同会の会長を務めています。表彰された中田さんは、「長年の活動ができたのは、活動を共にする仲間の推進員の協力があったこと、地域住民の皆さんが食改事業に参加してくださったこと、また行政の理解と協力があったおかげ」と感謝を述べられました。

11月25日(水)

園児を不審者・凶悪犯から守る 大同警備保障(有)が 町内保育所にさすまた贈呈

大同警備保障(有)が町内保育所にさすまた贈呈

大

同警備保障有限公司様から、同社の創立35周年記念事業として11月25日(水)、町内保育所の防犯に役立ててほしいと、さすまた6本を寄贈していただきました。

これにより、町内保育所へ不審者などが侵入した際、園児たちを素早く避難させるための防犯用具として、各園へ2本ずつ配備することができました。

贈呈式の後、実際にさすまたを使って防犯訓練が行われ、相手の凶器が届かないようにさすまたの後方を持つことや2人1組か2本以上で使用しなければ危険であることなど、持ち方や使用上の注意点を教わりました。



▲実技指導で使用方法を確認するふたば・あさひ保育所の船橋所長

新

型コロナ対策事業の一つである「あんしん御守袋」の配付が、11月25日(水)から始まりました。

あんしん御守袋はリュック型で、中には不織布マスク・除菌ウェットティッシュなどの感染症対策用品、体温計や栄養ドリンク、可燃・不燃ごみ袋が入っています。

普段使いはもちろん、災害時に非常用持ち出し袋として使うこともできます。65歳以上の一人暮らし世帯から順に、令和3年1月中旬までに全世帯へ配付する予定です。



▲マスクや体温計などのコロナ対策グッズを詰め合わせたあんしん御守袋